

皆様に千代田区政の動きをお知らせしていきます

身近な環境整備を。

## 安全 千代田!

歩行者の安全と円滑な道路交通を確保しながら、自転車通行環境を整備するために行なってきた「神田警察通り」の整備工事。これまで沿道いくつもの陳情が出され、審査を繰り返してきました。樹木医による診断、樹木の選定、移植など建設的かつ丁寧な議論を重ねてきた結果、まもなく第1期



工事の共立女子学園前の整備が終了いたしました。今後、神田駅まで快適な自転車通行環境が整備されていきます。

スポーツを身近に。

## 健康 千代田!

パラリンピックの成功なくして東京オリンピックの成功はない。障がい者スポーツ（パラスポーツ）をもっと知ってもらおう、みんなで体感しようと、各所で行われているイベントに千代田区も協力しています。多言語化されたバリアフリーマップも今後さらに拡充していきます。



### ◆東京2020大会におけるマラソンおよび競歩のコースが決定しました！

マラソンコースは、区内を走る距離はおよそ9km、全行程が区内で行われます。競歩コースは、緑豊かな皇居外苑が舞台で、選手に大歓声が届くコースになる予定です。

食の充実が教育の充実に。

## 子育て 千代田!

昨年より検討してきた区立学校での学校給食の標準献立が、新年度から導入されています。これまで各学校の栄養士さんが独

自の献立を作成していましたが、複数の栄養士さんが協力し合って、標準的な献立を作成。これにより質の高い給食の提供、教育の推進につながることが期待されています。食器も統一したものになります。また、各校の栄養士さんの連携強化と負担の軽減も実現します。



“食”の充実が教育の充実を支える…これは教育と福祉の連携でもあると再確認しました。本区でも一体となって進めていきたいと思っています。「こども食堂＝貧困」のイメージがあるかもしれません、そうではありません。

### ◆映画「こども食堂にて」を観てきました

(自民党教育再生実行本部主催)

近年、都心で急増している「こども食堂」が舞台です。利用するこどもたちの環境や地域を描きつつ、里親制度についても言及した内容です。

「こども食堂」は様々な悩みを抱えた子どもたちが安心して食事ができる場所。子どもも大人も、だれもが利用できる食堂。ボランティアと地域の方々の連携で築かれた「子どもの居場所のひとつ」です。



千代田区自由民主党議員団 幹事

## 池田ともりの区政レポート



バリアフリーマップ  
多言語化進んでます。

（一般質問に応えて）

第1回区議会定例会の一般質問の中で指摘をした「公衆・公園トイレの整備」について、早急な対応がとられました。

### トイレの整備

東京2020大会に向けて今後も区内の公衆・公園トイレの整備を加速的に進めてまいります。また民間トイレの活用に向けても引き続き調査・確認をし、協力を求めてまいります。



牛込見附公衆トイレ

# 平成30年第2回 区議会定例会において 一般質問 を行ないました！

## 放課後等デイサービスについて

本区において、「障害等のあるなしに関わらず、その人らしさが尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる千代田区の実現」を基本理念とする千代田区障害福祉プランが策定されました。

6~18歳までの児童生徒が利用する放課後等デイサービスは、子どもが自立した生活を送る

ための支援が目的であると同時に、同じ悩みを持つ親同士、情報共有を支援するという側面も持っています。今年の3月に放課後等デイサービス事業所への報酬の制度改定がなされました。利潤を追求し支援の質が低い事業所が増えていたり、状況を是正するための制度変更といわれています。

池田

放課後等デイサービスへの報酬改定にともない、本区でも起きている問題の現状把握と今後の対応について見解は。



### 回答

本区での放課後等デイサービスの状況を調査し、その結果を踏まえたうえで今後対応していく。また、他の自治体の動向を見守るとともに国に対しても意見を申し入れていく。

この質問をきっかけに議会でも議論となり意見書を提出することとなりました

### 意見書提出

子育て文教委員会では、現状を把握したうえで、国に対して放課後等デイサービス事業に関する運営基準の適正化を図るよう、方策を講じることを強く求める意見書を提出することとしました。今後の動向に注目していきたいと思います。



平成30年11月

## 障害児支援の環境整備の強化について～新たに策定された障害福祉プランから～

重度の障害を持った子どもにとって、しっかりと受け止めてくれる放課後等デイサービスは、子どもたちだけでなく、保護者にとっても安心できる場所として必要であると考えます。障害児施設について区民アンケートを行った結果、「児

童発達支援、放課後等デイサービスの不足」と「障害児利用可能な短期入所サービスがない」ということが、課題となりました。また、区内には現時点で重症心身障害児を支援する事業者もいません。もっと現状を認識していただ

き、区のかわりに事業を展開する民間の事業者を誘致、活用していくという考え方があれば適正な事業者との連携が必要ではないか。

池田

学童クラブでは対応できない児童や生徒を受け入れる児童発達支援や放課後等デイサービスが今後さらに必要とされます。そのような施設整備の強化を進めるべきと考えますが。

特別支援学校や特別支援学級に通うほとんどの児童が放課後等デイサービスに登録していて需要は増加傾向にあります。良質な民間の事業者の誘致も含め、整備を検討していく。

## 障害者の切れ目のない支援について

障害等のある方やその家族が身近な困りごとを気軽に相談でき、個々の状況や、年齢、発達障害を含む障害特性に応じた専門的な相談にも対応できる障害者「よろず総合相談」が新たに設置されます。

池田

0歳から18歳までの発達に応じた障害児支援から、その後障害等のある方の自立を促進する障害者支援へと制度が切り替わる節目において、情報共有など横のつながりとして連携強化を求めるべく

18歳を境に支援の体制が変わり、担当もどこも部から障害者福祉課へと変わります。制度が切り替わる前に、障害者福祉課としてどのような事業があるのか、様々な支援や障害福祉サービスを紹介することはできないか。

### 回答

障害のある方を生涯にわたり切れ目なく支援する体制を整えることは大きな課題であると認識している。庁内はもとより、民間の事業所との連携をさらに強化し、障害等のある子どもへの相談支援体制の整備に取り組み、情報の把握と共有に努めていく。

## 公式ホームページでも最新の活動を随時



[www.ikedatomonori.net](http://www.ikedatomonori.net)

### <池田とものり PROFILE> 「子育て文教委員会(常任委員会)」「オンラインピック・ハーフンピック対策特別委員会」「区議会だより編集委員会」

★昭和44年10月28日、麹町で生まれる ★昭和51年 麹町保育園卒園 ★昭和57年 麹町小学校卒業 ★昭和60年 麹町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業  
★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業 ★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに。現在、有限会社 八百鶴商店 取締役  
★平成20年度・21年度 麹町小学校PTA会長 ★平成15年~平成26年・30年~ 千代田区スポーツ推進委員 ★平成25年~共立女子学園後援会副会長  
★平成26年 千代田区ドッヂビー協会会長 ★千代田区相撲連盟顧問 ★平成29年度・30年度 共立女子中学高等学校PTA会長

<趣味>けん玉(初段)・ボウリング・ドッヂビー(審判・指導資格取得)

## 池田とものり事務所

TEL/FAX:03-3221-7892 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com



池田とものり  
公式アプリ公開中!!